



校長室だより

第8号 平成26年3月11日発行

大隅東小学校長 豊田 雅弘

<http://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/e651424>

今年度も残りわずか

「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」の言葉通り、新年を迎えてからあっという間でした。残された僅かな時間で、6年生は進学、1～5年生はそれぞれ進級に向けての準備に追われることになります。やり残したことがあれば、有効に時間を過ごしてクリアしてほしいです。

3・11「東日本大震災」から丸3年

14時46分、この大阪でも大きな揺れを感じました。その日は大阪市内の公立中学校は卒業式でした。小学校では6時間目の授業が始まった直後で、各学級では学年末のまとめの作業をしていました。すぐに職員室ではテレビのスイッチを入れると、東北地方を中心に大地震が発生したというニュースでした。ほどなくすると、津波が建物をはじめ様々なものを次々に飲み込んでいくではありませんか。今あったものがあっという間に消えていく。一瞬の出来事で、まるで映画の特撮を見ているようでした。

死者は地震より津波による溺死が全体の9割以上でした。3年たった今尚、避難所生活をしている人もたくさんおられます。被災直後から、外国からの救援、自衛隊の活動、さらには官だけでなく民間の有志（ボランティア）の方々による甚大な支援活動もありました。心のケアに関して、今も現地を訪れている人たちも大勢おられます。今、自分ができることで支援することはもちろんですが、もし巨大地震が身の回りに襲ってきたらどうすればよいのか、常に考えておく必要があります。3年が過ぎた今も、風化させることなく教訓として生かしていきたいものですね。

Sochi オリンピック・パラリンピック

日本選手も若手からベテランまで、様々な選手たちが全力を出し切り、数多くの成果をあげています。全力を出し切ることのすばらしさ、スポーツを通して国を隔てての友情が人々に大きな感動を与えてくれました。

大阪にも日本一が

7日にあべのハルカスが全面オープンしました。地上300mというビルとしては日本一の高さです。大阪に住む我々にとっても誇れるものが一つ増えたような気がします。